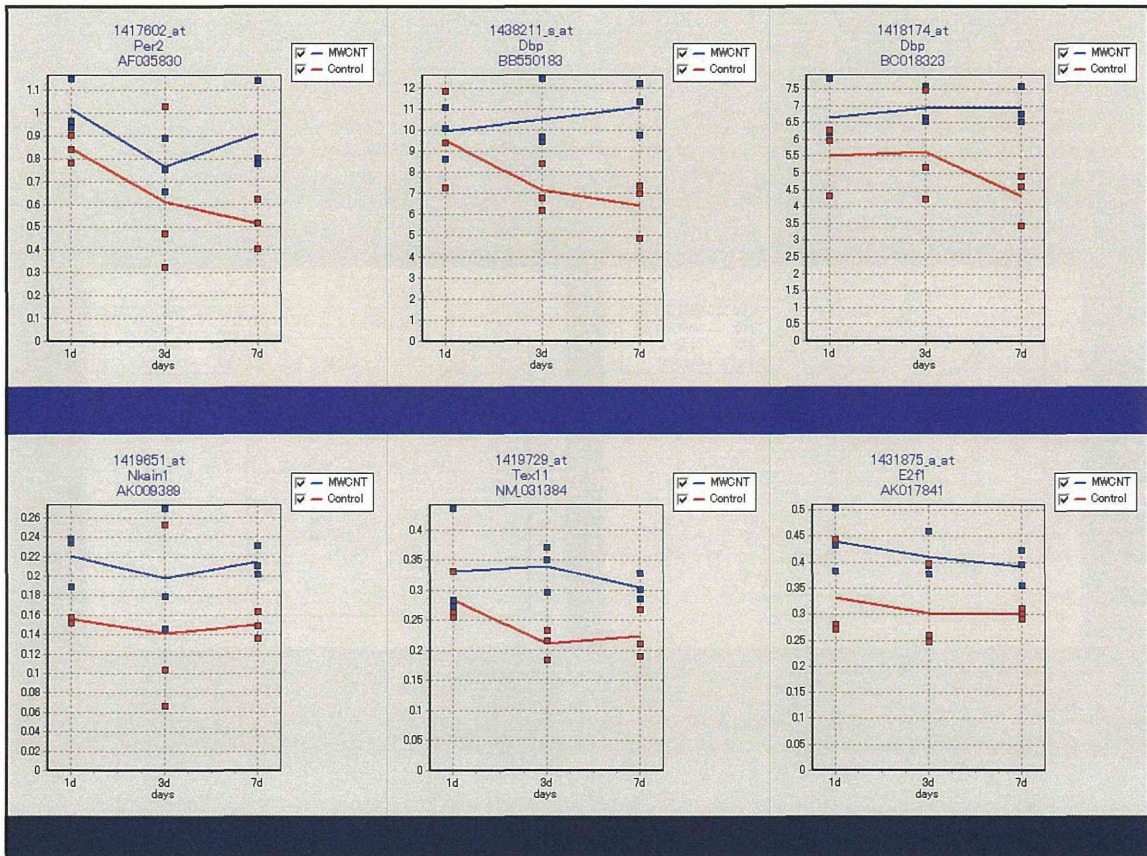
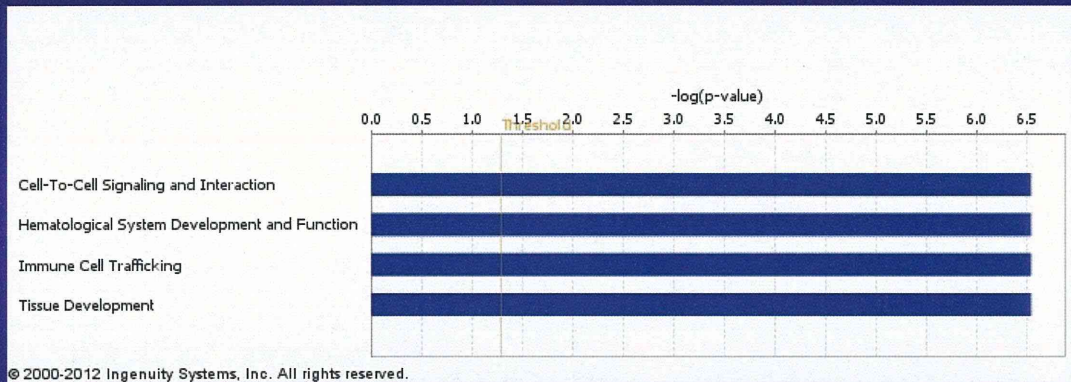


7日目増加遺伝子

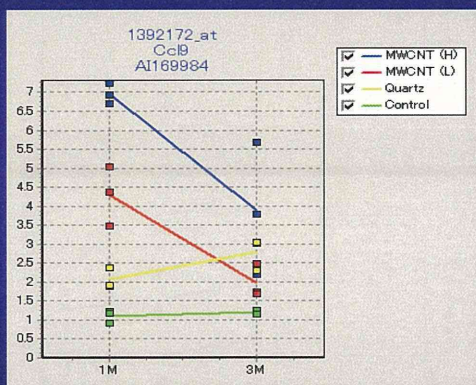


Pathway 解析 (1d MWCNT)

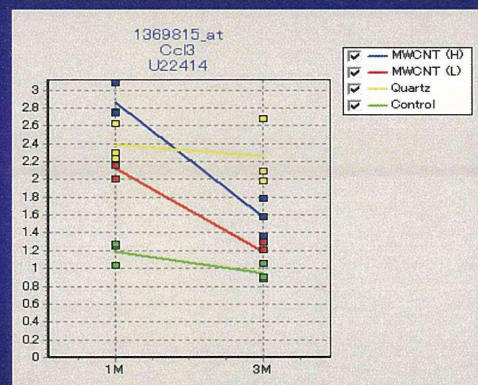


Chemo/cytokine

Ccl19

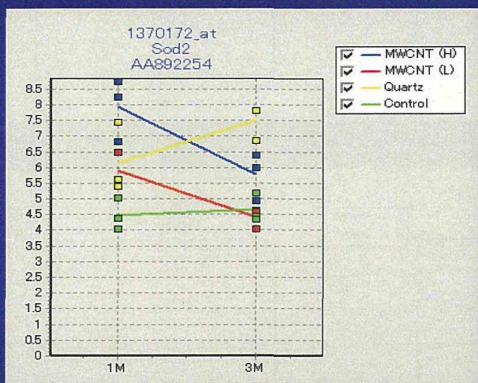


Ccl3 (MIP-1α)

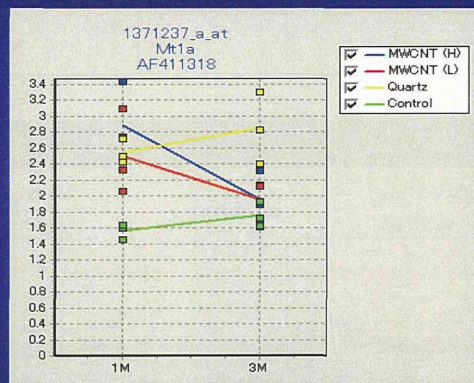


Oxidative stress response

SOD2

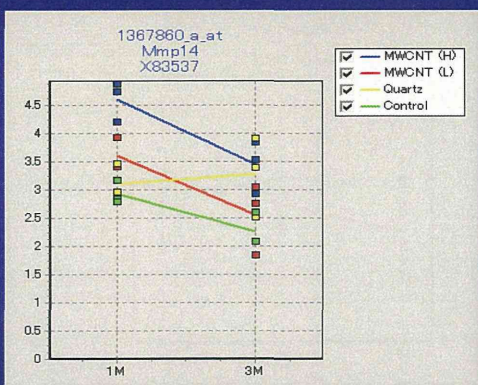


Metallothionein-1a

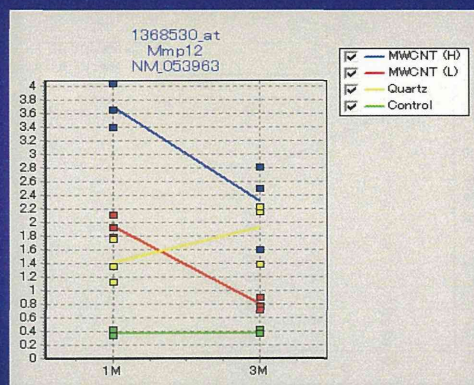


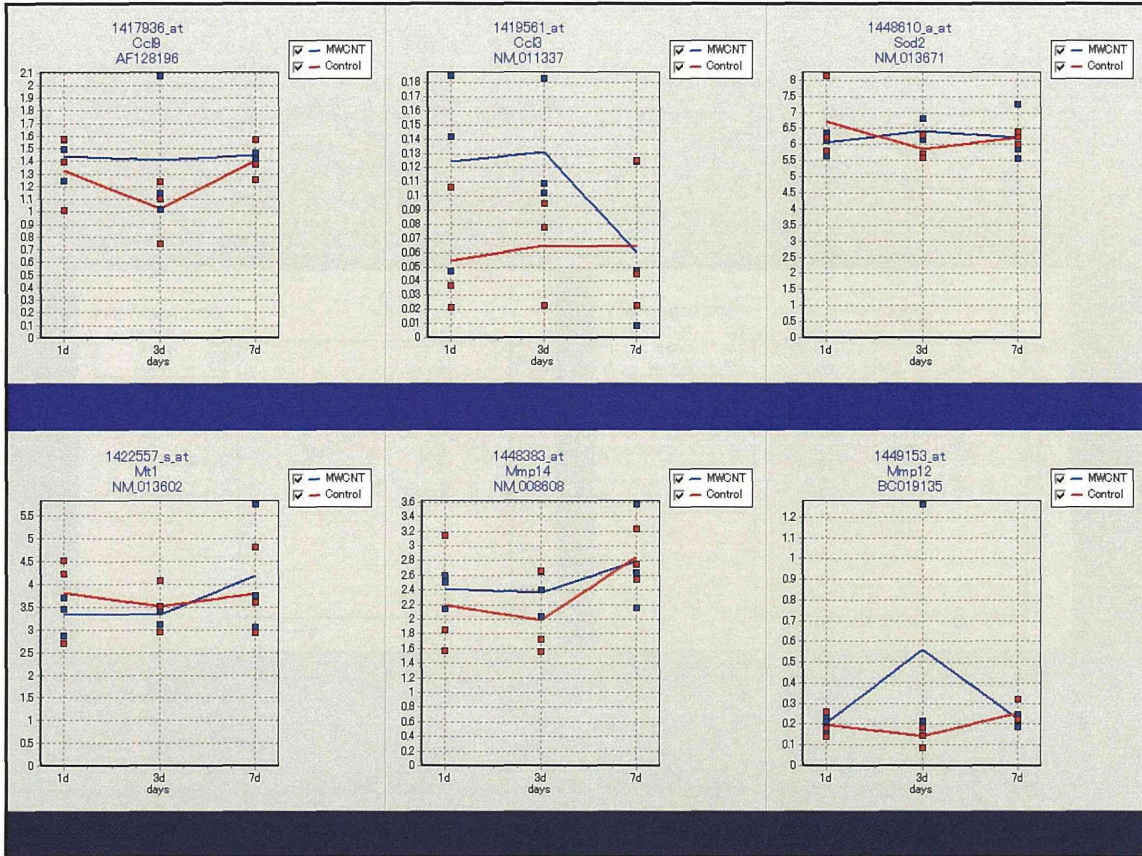
Pro/anti-fibrosis

MMP14



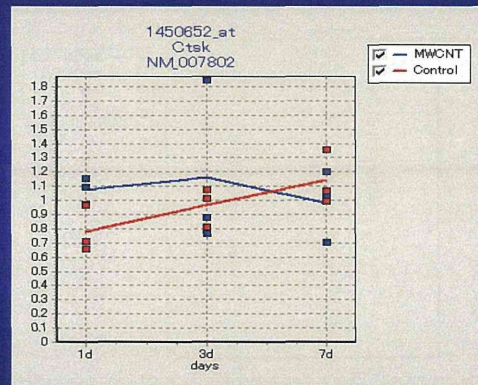
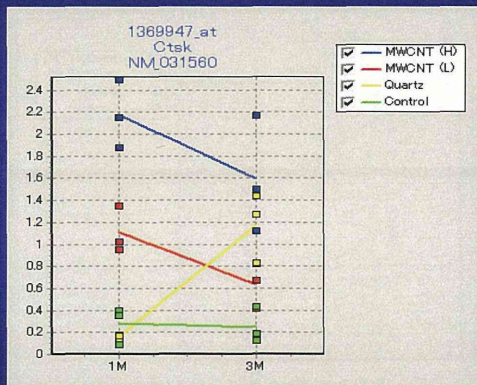
MMP12



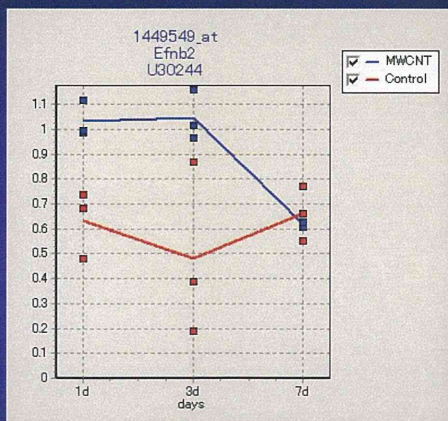


Anti-fibrosis

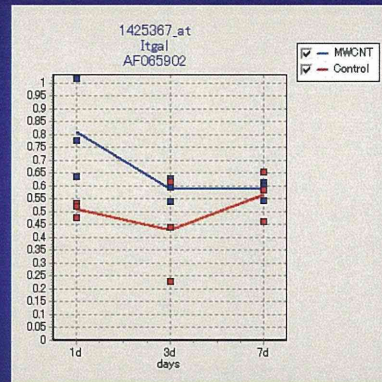
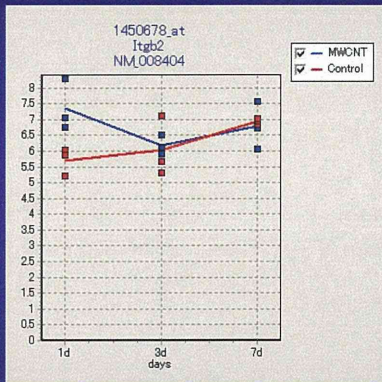
Cathepsin K



免疫反応関連遺伝子



Efb2は胸腺発達、末梢T細胞分化、抗ウイルス免疫応答に関与していることが知られている。このEfb2の増加についてはMWCNTに対する免疫応答に関連していることが示唆される。



Itgb2とItgalのヘテロダイマーにより、Lymphocyte function-associated antigen 1 (LFA1; リンパ球機能関連抗原)を形成することが知られている。LFA1はT細胞、B細胞、白血球、マクロファージ等に発現し、抗原提示細胞と接着することにより情報伝達に関与することが知られている。

DNA damage関連遺伝子

